

【別紙2】

応募用紙の書き方例

応募時にご記入いただく内容について、取り扱うテーマが興味深いものであっても、書き方によっては内容が十分に伝わらず、採択の判断が不採択となる場合があります。応募用紙の書き方について良い例と悪い例を例示しますので、応募の際の参考にしてください。なお、良い例のとおりでないとは不採択になるわけではありません。

	<良い例>	<悪い例>
タイトル	「スプーン1杯の土が人類を救う」 ～微生物の力を借りて薬を創る～	微生物の驚くべき能力
概要	要点： 講演内容についての目的等がタイトルを見ただけでも分かりやすく、また、印象に残り、興味・関心を与えるものになっている。	要点： インパクトはあるが、抽象的な表現が使われており、一見ただけでは内容が不明で講演会のイメージが取り手によって差異が生じる。
	2015年ノーベル生理・医学賞の受賞理由となった抗生物質 <sup>*1</sup> の一種であるエバームクチン <sup>*2</sup> 発見の歴史やその作用について解説するとともに、現在新たに取り組んでいるさまざまな病気を対象とした抗生物質の探索研究について講演します。 ※1 抗生物質とは微生物の創る薬であり、最初の抗生物質ペニシリンは細菌感染症の治療薬として画期的な効力を示した。 ※2 エバームクチンは、寄生虫の病気に優れた効果を示し、何億人もの人々を救った抗生物質である。	本講演会では、微生物の凄い能力を紹介します。また、苦労した点についてもお話しします。
	要点： どういった内容の講演かが具体的、かつ分かりやすくまとめられている。	要点： 講演で話される具体的な内容が不明なため、参加者にとって興味ある講演会かどうかの判断がつきにくい。
参加者が得られる知見	2015年ノーベル生理・医学賞の受賞理由となった抗生物質の一種であるエバームクチンについて分かる。また、エバームクチン発見の歴史やその作用について知る。更に、現在新たに取り組んでいるさまざまな病気を対象とした抗生物質の探索研究について理解する。	微生物に関すること。
	要点： この講演会に参加することでどんな情報が得られるかが端的にまとまっている。	要点： 本講演ならではの得られる知見について具体的に書かれていない。
参加者ターゲット	科学分野やノーベル賞の授賞理由等に興味のある方や、進路選択に迷っている学生	理系好きの人達
	要点： この講演会の対象者が明確になっていることから、内容の詳細を検討する際の有益な情報となっている。	要点： 対象の設定が広すぎるため、具体的に対象となる参加者イメージが明確化されていない。対象をイメージした講演内容を構築できない。
内容	・抗生物質が多くの人命を助けた現場の状況：[15分]	微生物の凄さをご紹介します。

<p>内容の詳細</p>	<p>発展途上国を中心に蔓延する難病に立ち向かう医師団や研究者の取り組み。リアルタイムで今この瞬間にも起きている命のやり取りの現場を紹介する。</p> <p>・<b>ノーベル賞の受賞理由</b>：[20分]</p> <p>世界の人々を助けた大村教授の偉大な業績についての解説や、ノーベル賞授賞式の様子など、エピソードを交えて解説する。</p> <p>・<b>エバームクチン発見の歴史やその作用について解説</b>：[25分]</p> <p>エバームクチンがゴルフ場のスプーン一杯の土から偶然に発見されたこと。土から微生物を分離する方法、微生物の体液構成の分析と有用物質の抽出手法、その時に起きたハプニング、失敗を繰り返して到達した奇跡の薬についてお話します。</p> <p>・<b>現在新たに取り組んでいるさまざまな病気を対象とした抗生物質の探索研究とまとめ</b>：[20分]</p> <p>現在も世界では、多くの方が難病で苦しんでいる。その特効薬となる薬を開発するために、微生物を探索し、有効な薬へのアプローチを行っている。研究の生々しい一面と、ある意味極秘の内容についても一部紹介し、科学の深さと意義を伝える。</p> <p>上記各要点のまとめを行う。</p> <p>・<b>質疑応答</b>：[10分]</p> <p>※講演時間：計90分</p>	<p>また、研究の際に工夫した点や、問題点とその解決策もあわせてご紹介します。</p> <p>新薬の開発の難しさについても話します。</p>
	<p><b>要点：</b> 講演内容が項目順に分かりやすく、かつ具体的にまとめられており、実際の講演で話される内容が正確に把握でき、採択の判断がしやすい内容になっている。</p> <p>また、各項目の時間配分も書かれているので、それぞれの項目がどの程度の密度になるかについて読み取れる点も判断の参考になる。</p>	<p><b>要点：</b> 「内容の詳細」欄については講演内容自体の価値を審査するための詳細情報になるため、抽象的な書き方では採択を判断出来ない。</p> <p>実際の講演で話をする具体的な内容の記載が必要。</p> <p>この例においては、「研究の際に工夫した点とは何か」そして「何をどう解決したのか」という具体的な事例が記載されていないため、実際の講演で話される内容が正確に把握できない。また、「近隣において類似の講演がなかったか」といったことの確認も含めて採択すべき講演かどうかを判断することができない。</p>